

【初年度実証成果】 (有) 南西サービス (鹿児島県天城町)

スマート農業実証
プロジェクトパンフレット
P.65

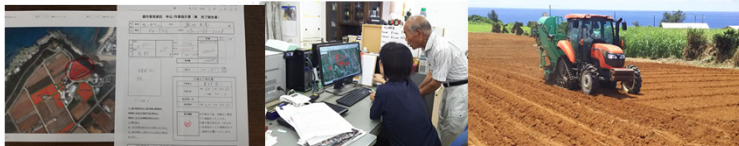
実証課題名：「クボタスマートアグリシステムを活用した農作業と管理の効率化並びにドローンを活用した管理作業の効率化の実証」

経営概要：1,040ha（自営農場 40ha、さとうきび農作業受託 1,000ha）
うち実証面積 1,012ha（自営農場 12ha）

導入技術

①KSASの運用によるさとうきび農作業受託および作業実施の効率化

②ドローンの導入と運用による自営農場の防除作業の効率化



目標

- ① K S A Sシステムの活用で、農作業受託部門の収支10%UPとトラクター受託の売上50%UP
- ② ドローンの運用と農業機械の効率的な稼働で自営農場の単収を島内平均単収より5%以上UP

1 初年度の実証成果の概要

- ① K S A Sの運用により、受託作業受付・作業管理業務の効率化と再委託先となる協力農家数が増加し、受託面積が拡大した。また、K S A Sの実用性が認められ、令和2年度に設立される「徳之島さとうきび農作業受委託調整センター」の調整業務を受託することになった。
- ② 協力農家数の増加により作業再委託面積が拡大した結果、自営農場の管理を適期に実施できるようになり、自営農場の単収を島内平均単収より5%以上UPさせる目標を達成できた。

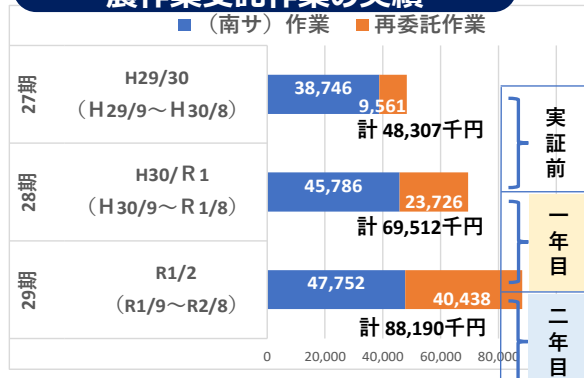
2 導入技術の効果

(1) KSASの運用によるさとうきび農作業受託および作業実施の効率化

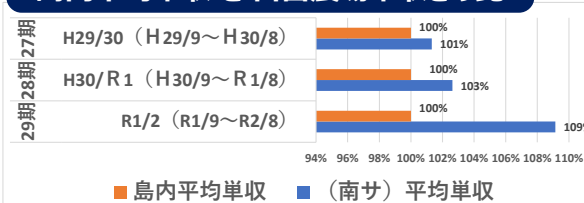
背景：徳之島さとうきび生産基盤の弱体化
単収が低下し島全体に大きな収益性の損失

- ① K S A Sによる受託ほ場データの蓄積 (体制整備完了)
- ② K S A S面積測定技術を活用し面積当「前払作業料金」の導入 (債権管理簡素化)
- ③ K S A Sを運用し「作業受付→作業指示→作業実施→作業完報告」業務の効率化 (作業指示側「PC」及び作業側「スマートフォン」間をリモート化)
- ④ 協力農家数 (R2/3末時点：協力農家 37件)
- ⑤ 受託作業量の拡大 (H29/30 48,307千円 → H30/R1 69,512千円 → R1/2 88,190千円)
- ⑥ 自営農場の単収の向上 (R1/2年実績；島内平均単収の5%以上UP)

KSASを活用したさとうきび農作業受託作業の実績



島内平均単収と自営農場単収との比



3 今後の課題・展望

- K S A Sとスマートフォンの活用による業務の簡素化と協力農家との情報共有の強化を図り、受託作業実施の効率化を進めるとともに受託作業面積の拡大を図る。
- 関係機関と連携した徳之島農作業受委託調整センターによる徳之島全体の農作業受委託調整を展開し、島内の単収向上に貢献できる組織を目指す。
- K S A Sを活用した徳之島全体の「さとうきびほ場台帳」を整備し、データに基づく営農実践の体制を構築する。
- ドローンを活用し自営農場の害虫防除作業を適期に実施し、防除コスト低減と単収向上を図る。

問い合わせ先

有限会社 南西サービス

e-mail : s_chiba@nanseitg.co.jp